

### 【2019年1月26日～2019年2月1日までの推移】

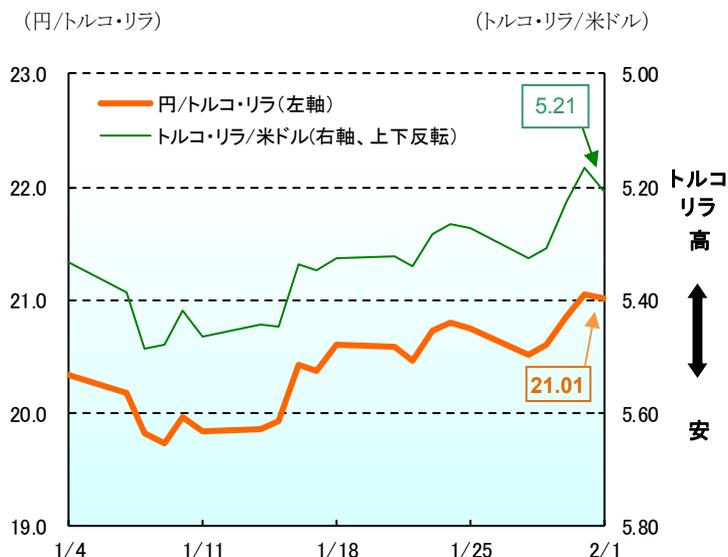
#### 【1】先週の回顧

先週のトルコ・リラ相場は対米ドル・対円ともに上昇しました。トルコの2年国債金利は小幅に上昇しました。

先週のトルコ・リラは、週初はシリア情勢を材料にやや売られたものの、その後はFOMC(米国連邦公開市場委員会)で利上げ姿勢の後退が示されたことや米中貿易交渉への懸念が後退したことで、リスク選好的な環境の中、対米ドル・対円ともに上昇しました。

1月31日(現地)にトルコ中央銀行から発表されたインフレ報告書では、インフレ予測値の下方修正を行いつつ、金融引き締め姿勢の継続が示されました。利下げ見通しの後退を受けて国債金利は小幅に上昇しました。

【トルコ・リラ 為替推移】(2019年1月4日～2019年2月1日)



※四捨五入の関係で数値とグラフの目盛りが一致しない場合があります。

#### 【2】今週の見通し

トルコ国内ではインフレ率の鈍化を確認する局面が続きそうです。今週はトルコ国外の注目材料も乏しく、トルコ・リラは小動きを想定しています。ただ、シリア情勢を巡ってエルドアン大統領は、シリアのクルド人勢力のための20マイル安全地帯について、トルコによる管理を主張しており、対米関係も含め引き続き留意する必要があると考えています。

【トルコ 金利推移】 (2019年1月4日～2019年2月1日)



(出所:ブルームバーグより大和投資信託作成)

#### 当資料のお取り扱いにおけるご注意

■当資料は、ファンドの状況や関連する情報等をお知らせするために大和投資信託により作成されたものであり、勧誘を目的としたものではありません。■当資料は、各種の信頼できると考えられる情報源から作成していますが、その正確性・完全性が保証されているものではありません。■当資料の中で記載されている内容、数値、図表、意見等は当資料作成時点のものであり、将来の成果を示唆・保証するものではなく、また今後予告なく変更されることがあります。■当資料中における運用実績等は、過去の実績および結果を示したものであり、将来の成果を示唆・保証するものではありません。■当資料の中で個別企業名が記載されている場合、それらはあくまでも参考のために掲載したものであり、各企業の推奨を目的とするものではありません。また、ファンドに今後組み入れることを、示唆・保証するものではありません。

販売会社等についてのお問い合わせ⇒大和投資信託 フリーダイヤル 0120-106212(営業日の9:00～17:00) HP <https://www.daiwa-am.co.jp/>